

磐田市公共下水道事業におけるウォーターPPP

導入検討に関するサウンディング型市場調査

実 施 要 項

令和7年8月25日

磐田市環境水道部上下水道工事課

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査機関	1
3. サウンディング調査スケジュール	2
4. サウンディング調査の内容	2
(1) アンケート調査の実施	2
(2) ヒアリング調査の実施	3
5. サウンディング調査の対象者	3
6. サウンディング調査の対象となる処理区域	4
7. 留意事項	4
(1) 参加事業者の取り扱い	4
(2) 費用負担	4
(3) 追加対話への協力	4

1. 調査の目的

本市の下水道事業は、流域関連公共下水道事業として昭和 56 年度に事業に着手し、平成 2 年度に供用を開始しました。

今後、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少や職員数の減少に伴う人手不足、増え続ける施設の老朽化など、下水道事業をとりまく状況は厳しさを増すことが想定されます。そこで、適切に施設を管理運営し、持続可能な下水道事業を実現するため、新たな手法の検討が必要となります。

このような状況の中、国は民間の経営ノウハウや創意工夫を活用することにより、下水道事業の持続可能性の確保を図るため、「ウォーターPPP」の導入を強く推奨しています。

本市においても、今後想定される「ヒト」、「モノ」、「カネ」の問題に適切に対応し、将来にわたって下水道事業の健全で安定的な運営を継続するための手法として、「ウォーターPPP」の導入を検討するため、民間事業者の皆さまの参入意向や事業スキームなどについての考え方を把握することを目的として、サウンディング型の市場調査を行うこととしました。

なお、本調査にご協力いただいた御意見は、本市が「ウォーターPPP」を導入する際の事業範囲等の検討に活用させていただきますのでご了承ください。

2. 調査機関

サウンディング調査についてのご質問・ご意見は下記調査機関で承ります。

調査主体	静岡県 磐田市役所 環境水道部 上下水道工事課 担当者 松下、中安、酒井 TEL : 053-58-3287 FAX : 0538-58-3271 E-mail : jogesui-koji@city.iwata.lg.jp
○調査委託先 (調査窓口)	アジア航測株式会社 西日本インフラ技術部 担当者：竹内 大輔、吉田 恵勝 TEL : 06-4801-2259 FAX : 06-4801-2202 E-mail : dsk.takeuchi@ajiko.co.jp

3. サウンディング調査のスケジュール

- (1) 実施要領の公表
令和7年8月25日(木)
- (2) アンケートによる調査
 - 1) 調査実施期間
令和7年8月25日(木)～9月19日(金)
 - 2) 回答期限
令和7年9月19日(金)
 - 3) 結果概要の公表
令和7年10月3日(金)
- (3) ヒアリングによる調査
 - 1) 実施企業の選定
令和7年9月下旬
 - 2) 調査実施期間
令和7年10月上旬～中旬
 - 3) 結果概要の公表
令和7年11月中旬

4. サウンディング調査の内容

- (1) アンケート調査の実施
 - アンケート調査にご協力いただける方は、ホームページから「様式 1 アンケート調査票」をダウンロードして頂き、必要事項の記入をお願い致します。
 - 1) アンケート調査票
「様式 1 アンケート調査票」による回答
※ホームページからダウンロード願います。
 - 2) 回答期限
令和7年9月19日(金)
 - 3) 提出方法
ご記入いただいたアンケート調査票は、回答期限までに下記の連絡先へ電子メールで送付してください。
○調査委託先（調査窓口）
アジア航測株式会社 西日本インフラ技術部 担当者：竹内 大輔
E-mail : dsk.takeuchi@ajiko.co.jp
TEL : 06-4801-2259
※メール件名『磐田市サウンディング調査について（御社名）』としてください。
 - 4) アンケート調査結果の公表
アンケート調査の結果について、調査参加者数や業種等の概要をホームページで公表します。
なお、調査に参加した方の名称等は公表しません。

(2) ヒアリング調査の実施

アンケート調査に協力いただいた法人様の内、ご協力いただける方を対象にヒアリング調査を実施します。アンケート調査内に、ヒアリング調査への参加意向についてお尋ねしますので、後日、担当者から連絡致します。なお、時間の都合上、「ヒアリング調査に協力できる」と回答された皆様全員は実施できない場合がございますので予めご了承ください。

1) 実施期間

令和 7 年 10 月上旬～中旬（参加法人等ごとに調整します）

2) 実施方法

対面またはオンライン（Microsoft Teams による web 会議を予定）

3) ヒアリング調査結果概要の公表

ヒアリング調査の結果について、概要をホームページで公表します。なお、調査に参加した法人様の名称は公表しません。また、参加した方の技術に配慮し、公表にあたり事前に参加した方に内容の確認を行います。

5. サウンディング調査の対象者

磐田市下水道事業等におけるウォーターPPP、包括的民間委託、官民連携事業に関心のある法人または団体とします。

ただし、次のいずれかに該当する者を除きます。

- (1) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定により競争入札への参加を排除されている者
- (2) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）または暴力団関係事業者（暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第 2 号に規定する暴力団または暴力団員と密接な関係を有する事業者をいう。）
- (3) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者または民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（会社更生法にあっては更生手続開始の決定、民事再生法にあっては再生手続開始の決定を受けている者を除く。）
- (4) 市町村税（特別区にあっては都税）または消費税および地方消費税を滞納している者

6. サウンディング調査の対象となる処理区域

磐田市の公共下水道処理区域は、磐南処理区および豊岡処理区に分かれており、今回「ウォーターPPP」の導入を検討する処理区域は豊岡処理区になります。以下に概要を示します。

(1) 処理区域

区分	処理区名	整備面積	処理人口
単独公共下水道	豊岡処理区	約 299ha	8,100 人

(2) 施設

①終末処理場

名称		豊岡クリーンセンター
処理区名		豊岡処理区
供用開始		平成 12 年度
処理方式	水処理	オキシデーションディッチ法
	汚泥処理	反応タンク直接脱水
能力	計画日最大汚水量	4,400m ³ /日
	既設能力	3,300m ³ /日
焼却炉の有無		無

②管路

区分	処理区名	管きょ延長	管きょ内訳
単独公共下水道	豊岡処理区	約 81.7km	分流汚水：81.7km

※上記のほか、マンホール、マンホールふた、取付管、ます等を含む。

7. 留意事項

(1) 参加事業者の取り扱い

サウンディング調査の参加実績は、ウォーターPPP における事業者公募等における評価の対象とはなりません。

(2) 費用負担

サウンディング調査に参加に要する費用は、参加事業者の負担とします。

(3) 追加対話への協力

サウンディング調査終了後、必要に応じて追加の対話（文書照会を含む）やアンケート等を実施する場合があります。その際は御協力をお願いいたします。